



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)、『雲の上で出会った超一流の仕事の言葉』(あさ出版)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ！———人生・農業リセット再出発 251

希望日本の農業“美事ネス成幸法”

岸 田内閣で「経済安全保障担当大臣」が新設された。太平洋戦争を開戦せざるを得なかったのは、東シナ海のライフラインが米国に封鎖されて石油が枯渇、日本が生きるために牙をむくしかなかったからだ。日本の独壇場だった半導体生産は、韓国や中国に技術供与したところ、軒を貸して母屋を取られた。経済大国と思いがって命に係わる食料すらも金まかせに中国などからの安価な輸入に頼り、日本の工業も農業も衰退して国内産業は空洞・衰退化した。屈強なランナーでも靴に小さな石コロ一粒が紛れ込んだだけで走れなくなる。

海 外依存を続けた生命線の日本の食料自給率は1960年の79%から減り続け、先進国で世界最低の37%。コメや鶏卵、野菜は自給でおおむねまかなえるが、小麦や大豆は輸入に依存し、タイの鶏肉が止まるだけで唐揚げ市場はパニックになる。

我 が国の農業従事者は168万人で平均年齢は67歳で、毎年10万人が減少している。耕地面積は442万haだが、荒廃農地は合計65万haと全体の15%と栃木県より広い。「食の安全保障」の危機感が麻痺している日本は、中共の台湾侵略や尖閣・沖縄まで危機になって東シナ海の手路が閉ざされれば、一晩で食糧不足の飢餓貧民となる。国内で安全・安心な農産物を安定供給してくれる生産者を皆で支えることが、長期的には最も安い。

“日本一小さい専業農家”の石川県能美市のNさん。バーテンダーやホテル支配人を辞めて就農し、耕地0.3haとサッカーコート半分大きさに小さなビニールハウス4棟で経営している。50品種の野菜栽培、直売とネット販売で年間売上1,200万円、利益600万円を挙げて、夫婦と子

供2人の田舎暮らしで心身ともに豊かさを実感している。初期投資は農機具など143万円だけで、借金も補助金をもらったこともない。販売価格100円の野菜は通常、農家に支払われるのが流通経費を引いた46円、生産経費は約7割の32円かかるので14円しか利益が残らないが、直売やネット直販だと市場に出すより5倍の利益68円になる。野菜農家では、規格外など市場で扱ってもらえないことや豊作で採算割れするなど収穫物の3割が廃棄される。Nさんは少量生産で、モットイナイ精神で一つも廃棄しない工夫をしている。家族4人が一週間で食べる量を考えて受注生産で野菜をセットで売る。2,700円セットでは、レタス1玉、キュウリ3本、ズッキーニ1本、ジャガイモ300g、ダイコン1本、タマネギ2玉、赤タマネギ1玉、ピーマン、ナス、ミニトマトが6個ずつ、大玉トマト1玉、葉物野菜1。規格外や多少曲がっていくと消費者はほとんど気にしない。たくさん採れると+αで顧客に出血サービスする。一日の出荷量を8セットに制限して畑から宅配便で直送。割れたトマトはジュースにして販売、フェイスブックで無農薬・無肥料・無添加・採れ立ての美味しい安心生産過程“かかりつけの農家”を実況中継、日記を公開してお客と作る信頼関係の固定客で売り上げも安定し、広告費は0。

食 料輸入ストップでも農家との結びつきがあったら安心。夫婦二人で600万円の所得なら、年収300万円以下が3,000万人いる日本で、生活費の安い自然豊かな田舎で生活できるなら、第二のキャリアで農業を希望する人は増える。食の安全保障と国民の幸福度を増し、荒廃した国土再生も大いに可能。新政府に希望日本を創設してもらおう!